

世界防災フォーラム／防災ダボス会議@仙台

分野・部門間協働アプローチによる 災害に強い社会作り

— 仙台防災枠組の目標達成に向けた取り組み —

科学的知識・知見に基づいて防災・減災の意思決定が行われるようにするためには、分野・部門間協働アプローチ（TDA; Transdisciplinary Approach）が必要である。

本セッションでは、アジア各国の実践例を紹介し、意思決定の仕組みや事例の背景にある災害の根本原因への取り組みを議論することにより、仙台防災枠組の特にガバナンスの目標達成への道を探る。

■主催：公益社団法人 土木学会 ACECC TC21国内支援委員会

■日時：令和元年11月11日（月）13:30-15:00

■会場：仙台国際センター 会議棟2階 大会議室「萩」

■防災フォーラム参加者は申込不要です。直接会場にお越しください。

プログラム

（プログラム、講演タイトルについては変更になる場合がございます）

司会：荒木田 勝（TC21委員；アジア防災センター）

13:30 - 13:45 “台風ハイエン(ヨランダ)の教訓－防災・減災に向けた分野・部門協働アプローチ”

Hon. Romeo S. Momo (TC21 共同議長; フィリピン国会議員)

13:45 - 13:55 “TC21の活動を踏まえた成果報告書の出版”

倉岡 千郎 (TC21 副事務局長; 日本工営 株式会社)

13:55 - 15:00 [パネルディスカッション：プレゼンテーション]

塚原 健一 (TC21 事務局長; 九州大学 工学研究院 附属アジア防災研究センター 教授)

“平成29年7月九州北部豪雨災害と九州大学の取組”

Sumedi Andono Mulyo (インドネシア国家開発企画庁)

“スラウェシにおける災害復興支援の状況”

Youb Raj Paudyal (ネパール国家復興庁)

“2015年ネパール・ゴルカ地震後の災害に強いコミュニティ作りに向けた取り組み”

Khamarrul Azahari Razak (TC21 委員; マレーシア工科大学 主任研究員)

“マレーシアにおけるTDAの取り組み(予定)”

泉 貴子 (TC21委員; 東北大学災害科学国際研究所 准教授)

“仙台防災枠組実現に向けたTC21活動の意義と役割”

[パネルディスカッション：討論]

Hon. Romeo S. Momo

座長：石渡 幹夫 (TC21 共同議長; 東京大学客員教授 / 国際協力機構 国際協力専門員)



問い合わせ先;

倉岡 千郎 (TC21 副事務局長) a4982@n-koei.co.jp
日本工営株式会社 中央研究所